

事務事業 No./名称	□サービス部門 消防-03 ■支援部門		消防施設管理事業				
主管課	消防総務課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	防災拠点である消防庁舎の整備を図ります。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	23,610	34,145	33,479			
	(国・県)		3,851				
	(負担金等)						
	(一般財源)	23,610	30,294	33,479			
	人員配置数	1.0	1.0	1.0			
	人件費(千円)	9,678	9,290	9,391			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	33,288	39,584	42,880			
	市民1人当りの経費(円)	188	224	243			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
消防施設の管理	○	目標値	△	△	○	○	
		実績値	△	△			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
消防施設管理事業	23,610千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○
	④公平性	○	⇒	□A	■B	□C	□D □E
	事業の概要	各署所の修繕、保守管理等消防庁舎の維持管理を行う。					
		①効率性		②妥当性		③有効性	
	事業の概要						
		①効率性		②妥当性		③有効性	
	事業の概要						
		①効率性		②妥当性		③有効性	
	事業の概要						
		①効率性		②妥当性		③有効性	
	事業の概要						

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)							
H22年度の課題	老朽化が進んでいる消防庁舎の維持管理について、諸課題を抽出し、整理する。						
課題解決のための取組	厳しい財政状況が続く中、限られた財源を適正に執行するため、各施設の状態を詳細に把握し、優先順位をつけて修繕を実施した。						
未解決の課題	修繕未実施施設についての維持管理。						
今後の方針	東日本大震災を鑑み、防災拠点の要となる施設を適正に維持管理して行きたい。						
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	柿崎 雅之	

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
消防施設管理事業	主な個別事業	221 消防用設備等点検手数料	315	341	■適切 □見直し余地あり
		221 自家用電気工作物保安全管理業務手数料	780	737	■適切 □見直し余地あり
		221 自家用発電機定期点検手数料	225	225	■適切 □見直し余地あり
		221 ヒートポンプチャージ保守点検委託	233	233	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり